

TVセッター **取り付け説明書** TVST-GP117L

開封にあたってのご注意

- 箱から出す際は慎重に行ってください。
- 中身を取り出し、傷が付かないようにボール紙か布等を敷いてその上に静かに置いて下さい。
- 添付してある部品リストに記載された部品が損傷なく、全て揃っているかよく確かめて下さい。
- 組み立てる前に本取り付け説明書を良く確認してから、組み立てを始めて下さい。

安全にお使いいただく為の重要事項

- 実際に組み立てる前に、本取り付け説明書をよく読み、組み立ては本取り付け説明書に従い慎重に行ってください。



ご注意

組み立て、及び取付け不備等による事故について保証等は一切ございませんので、作業に際しましては、十分にご注意くださいますようお願い致します。

(少しでもわからない事や安全な取付けに疑問が生じた場合は、専門業者にお尋ねください)
(本商品テレビへの取付け方等について、はっきりしない場合でも専門業者にお尋ねください)

【事故損傷について】

誤った組み立て、取付け不良、取付け強度不足、および本来の目的以外の利用、天災等による事故等については一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

推奨 工具

- ・3/16インチ(約4.7mm)ドリルビット
- ・1/28インチ(約12.7mm)石工ビット
- ・レンチソケットセット
- ・フィリップススクリュードライバー
- ・スタッドファインダー(柱発見器)

組み立て設置上のご注意



本商品のボルト、ワッシャ類などは全て確実に取付けてください。不完全な組立てはモニター及び、テレビの落下、事故の原因となります。各パーツの取付箇所、取付方向を正確に行う為に、組立説明書をよくお読みになり、最適な場所に最適な方法で確実に取付けてください。



次のような場所には設置しないでください。モニターが落下して、けがや破損の原因となります。

- ・屋外や海岸、温泉に近い場所。
- ・動力用電源配線、空調機器、防磁型ではないスピーカーに近い場所。
- ・人がぶら下がったり、寄り掛かったりするような場所。
- ・ぐらついたり、傾いた不安定な場所。
- ・振動や衝撃のある場所。



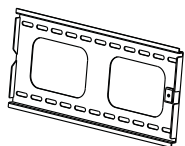
電気工事は、専門業者にご依頼ください。設置時に(芯線の露出、断線など)電源コードを傷め、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

作業スペースは十分に確保して下さい。けがや破損の原因となります。

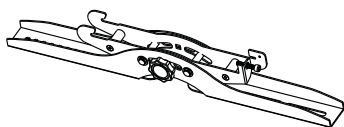
設置場所に通っている配線、配管を確実に避けてください。火災、感電の原因となります。

- ・本製品は、概ね55～102インチ、重量が65kgまでの 液晶テレビの壁掛け金具としてご利用いただけます。
- ・本製品には液晶テレビを壁掛け使用するための部品等は揃っておりますが、壁の状態により別途取り付け部品等が必要な場合は、お客様の責任のもと該当部品をご用意くださいませ。

Supplied Parts List



a 壁面プレート×2



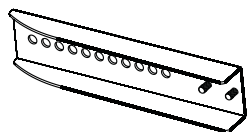
b 左モニターブラケット×1



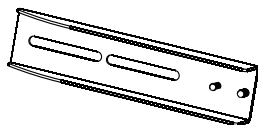
c 右モニターブラケット×1



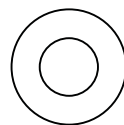
d 六角レンチ×1



e 上延長ブラケット×2



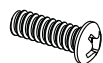
f 下延長ブラケット×2



g メタルワッシャー×8



h フレンジナット×8



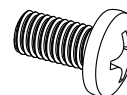
i M5 - 12ボルト×4



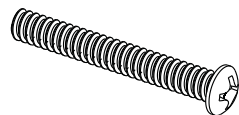
j M6 - 12ボルト×4



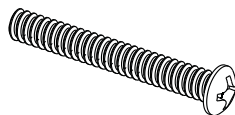
k M8 - 16ボルト×4



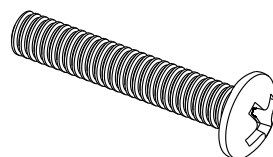
l M10 - 16ボルト×4



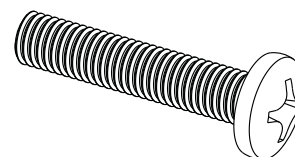
m M5 - 30ボルト×4



n M6 - 35ボルト×4



o M8 - 40ボルト×4



p M10 - 40ボルト×4



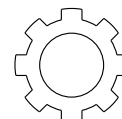
q M5ロックワッシャー×4



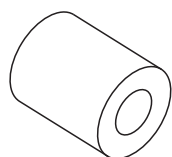
r M6ロックワッシャー×4



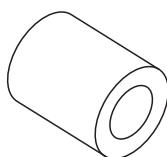
s M8ロックワッシャー×4



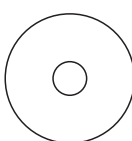
t M10ロックワッシャー×4



u M5/M6/M8 スペーサー×4



v M10 スペーサー×4



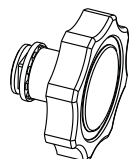
w M5ワッシャー×8



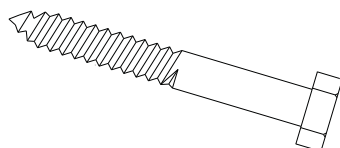
x M6/M8
ワッシャー×4



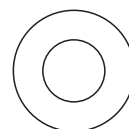
xx M10
ワッシャー×4



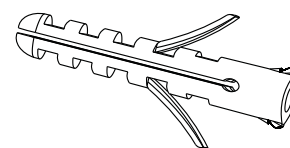
y 角度調節ノブ×2



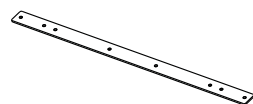
z ラグボルト×8



aa ワッシャー×8



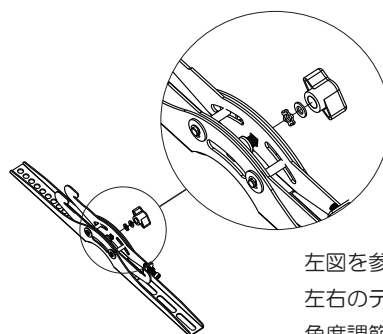
bb コンクリートアンカー×8



cc プレートバー×1



dd プレートバー用ボルト×2



設置の前に

左図を参考に
左右のテレビブラケット (b、c) に
角度調節ノブを取り付けておきましょう。

ステップ1

モニターブラケットを組み立てます

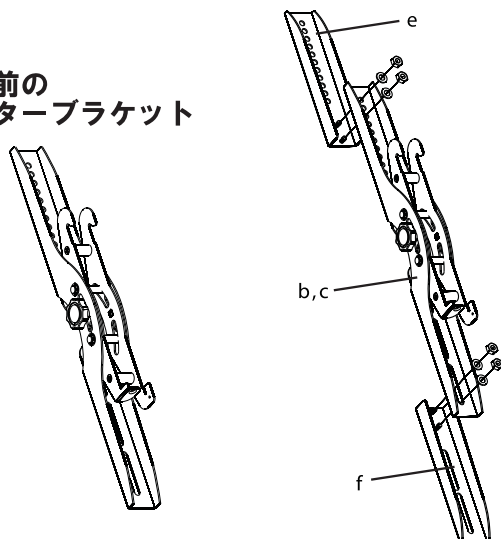
テレビの後部に左右のモニターブラケット(b,c)を置くことによってネジ穴の位置を確認してください。延長ブラケット【上下】(e、f)が必要な場合、下の図を参考にモニターブラケット(b,c)に延長ブラケットを接続します。テレビの後部のネジ穴がモニターブラケット(b,c)の穴の範囲内にある場合、延長ブラケットを接続する必要はありません。ステップ2に進んでください。

延長ブラケット【上下】(e、f)の接続は、下の拡大図を参考にしてください。テレビの背面のネジ穴に延長ブラケットのネジ穴が合うように適度の長さ位置に延長ブラケットを置いて調整してください。延長の長さの確認が終わりましたら、モニターブラケット(b、c)のネジ穴に延長ブラケットのネジ棒溶接部を置いてください。メタルワッシャー(g)とフレンジナット(h)でキッチリと締めて固定してください。

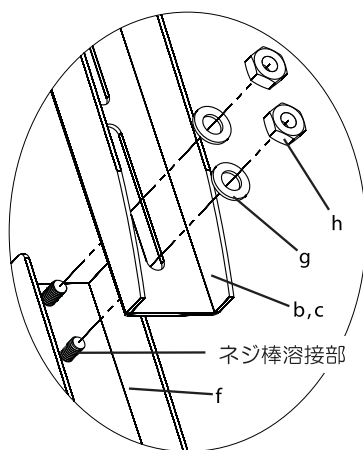
落下の危険を避けるために、延長ブラケットの各ネジ棒溶接部がきちんとモニターブラケットのネジ穴を通過していること、それぞれのフレンジナットがキッチリと締められていることを再確認願います。

左右のモニターブラケットにそれぞれ延長ブラケットを接続したら、ステップ2に進みます。

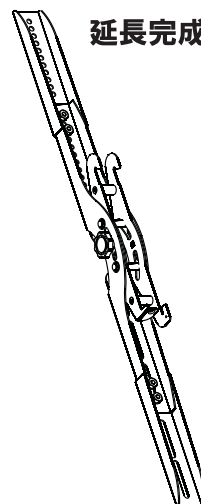
延長前の
モニターブラケット



拡大図



延長完成図

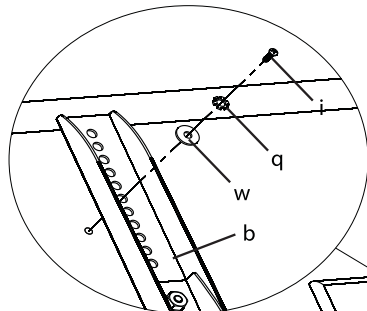


ステップ2a

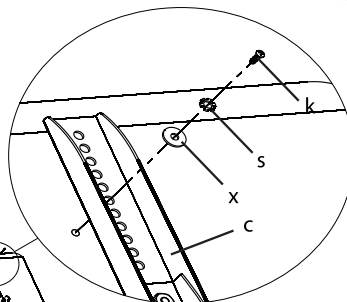
背面がフラットなテレビへのブラケットの取り付け

下の図を参考に、テレビの背面のネジ穴にモニターブラケットをワッシャー、ロックワッシャー、ボルトを使用して確実に正確に締め付けて取り付けます。この時使用するワッシャー、ロックワッシャー、ボルトは、取り付けるテレビ背面のネジ穴の直径に合ったものを使用してください。径の大きさが合わない場合や、違和感がある場合は、設置をやめてください。又、各ブラケットは、ブラケットの上下の中心がテレビの中心に配置されるように、左右均等に、且つ平行になるように取り付けてください。

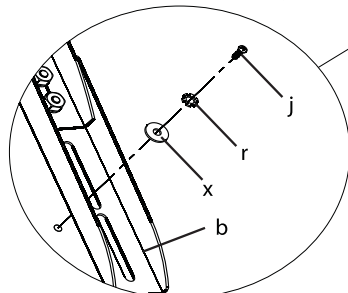
テレビのネジ穴がM5の直径の場合



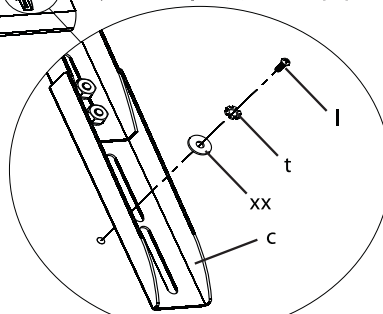
テレビのネジ穴がM8の直径の場合



テレビのネジ穴がM6の直径の場合



テレビのネジ穴がM10の直径の場合

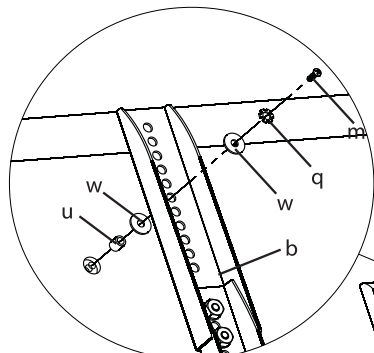


ステップ2b

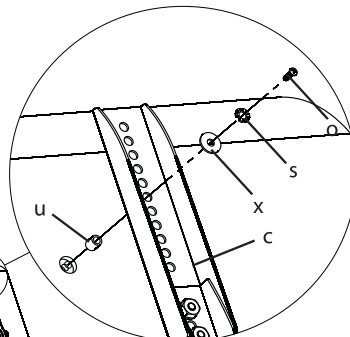
背面が曲面のテレビへのブラケットの取り付け

下の図を参考に、テレビの背面のネジ穴にモニターブラケットを取り付けます。ワッシャー、ロックワッシャー、更にテレビの背面の曲面の隙間を埋めるスペーサーを、ボルトを使用して確実に正確に締め付けて取り付けます。この時使用するワッシャー、ロックワッシャー、スペーサー、ボルトは、取り付けるテレビ背面のネジ穴の直径に合ったものを使用してください。径の大きさが合わない場合や、違和感がある場合は、設置をやめてください。又、各ブラケットは、ブラケットの上下の中心がテレビの中心に配置されるように、左右均等に、且つ平行になるように取り付けてください。M5ボルトを使用する場合は、ブラケットとスペーサーの間にもワッシャーが必要となりますので、注意してください。

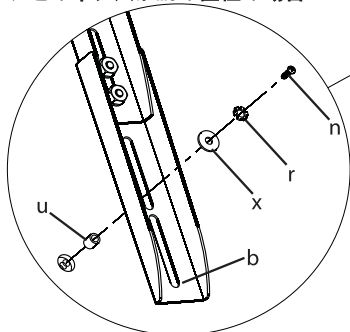
テレビのネジ穴がM5の直径の場合



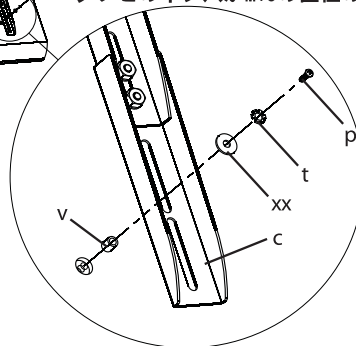
テレビのネジ穴がM8の直径の場合



テレビのネジ穴がM6の直径の場合



テレビのネジ穴がM10の直径の場合



ステップ3

ウォールプレートの壁面への取り付け

●レンガ、コンクリート壁への取り付け

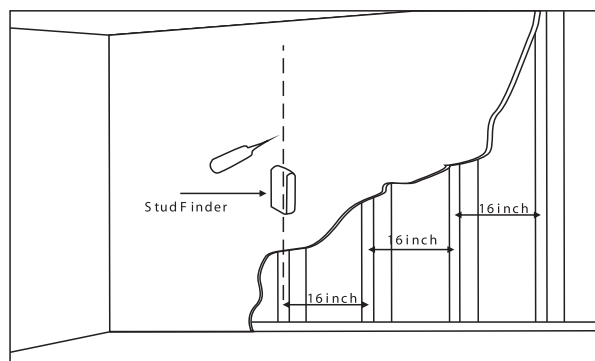
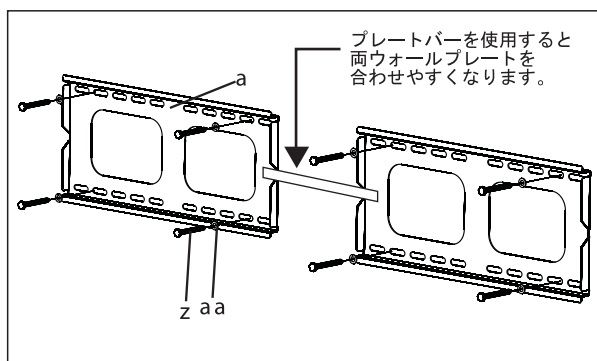
ウォールプレートを壁に押し当てて、穴を開ける場所(各プレート4箇所、計8箇所)にマーキングをします。この時、穴を開ける位置のバランスを考えてください。又、**左右のプレートがキッチリと平行になるように穴を開けてください。※平行にしないと最後に壁掛けが出来ません。**

穴の位置が決まったら、1/2インチ石材用ドリルを使用して約6.35センチの深さで穴を開けます。そしてコンクリートアンカー(bb)を差し込んでください。アンカーはキッチリと壁面まで差します。最後にウォールプレートをつけ、ラグボルト(z)と、ワッシャー(aa)で確実に止めます。

●木製スタッドへの取り付け

各ウォールプレートは、35センチ程度以上開いた2つの柱に取り付ける必要があります。スタッドセンサー(別売り)を利用すると便利です。無い場合は、下の図Bを参考に桐などを利用して柱の場所を探してください。柱の位置が確定したら、各ウォールプレートを垂直、且つ平行になるようにネジ穴の位置にマーキングします。**左右のプレートがキッチリと平行になるように穴を開けてください。※平行にしないと最後に壁掛けが出来ません。**マークをした場所に3/16インチドリルを使用して約6.35センチの深さで穴を開けます。そして、ラグボルト(z)とワッシャー(aa)でしっかりと壁にウォールプレートを取り付けます。

**くれぐれも左右のウォールプレートが垂直且つ、平行になるように取り付けてください。平行でない
と壁掛けが出来ず、大事な壁に再度穴を開けなおす必要が出てきます。両ウォールプレートの間隔が
広い場合は、左下図のようにプレートバーを使用すると、平行にしやすくなります。**



ステップ4

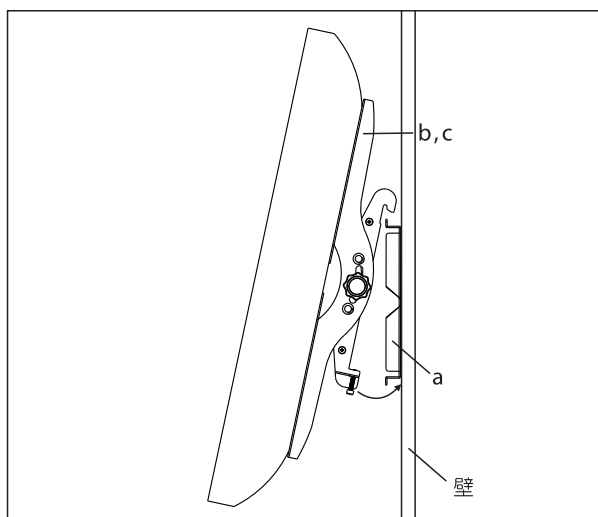
ウォールプレートにテレビを取り付けます

くれぐれもテレビを落下させる事の無いよう、複数人数で安全を確認しながら取り付けをしてください。

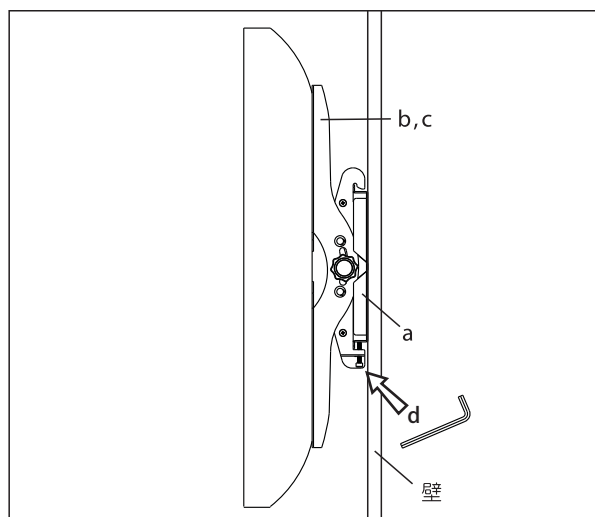
図Aのように、まずモニターブラケット(b,c)の上部を各ウォールプレート(a)に引っ掛けます。この時、各プレートが平行でないと左右のプレートに上手く掛かりませんので、その場合は、無理をせずにプレート位置を正確に平行になるように付け直してください。

次に、図Bを参考にモニターブラケットの下部とウォールプレートの下部を合わせて6角レンチ(d)を使用してセーフティボルトでしっかりと止めます。

図A



図B



最後に・・・【取付確認作業】

各取付け部分及び、ボルト、ナットの緩み、ガタがないか確認して下さい。緩みが確認できた際には、増し締めをしっかりと行って下さい。少しでもガタや、違和感があった際には取付けを中止して下さい。
この【取付確認作業】は定期的（半年に1回程度）に実施し、問題の無いことを確認して下さい。

Thanks for choosing our products, enjoy the using.